

産業振興について

公共事業における市内企業の受注機会の確保について

公共事業については、市内企業に対し優先発注を行うことについて、これまでも要望を行っているが、予算における投資的経費を確保し、災害対策などの生活関連公共事業を重点とした予算措置を行い、地元企業の受注機会の拡充につなげていくべきと考えますが、対応状況について伺う。

【答弁】令和5年度の予算編成におきましては、市民のくらしの安全・安心を確保する観点から、老朽化する公共施設の長寿命化や災害復旧等に係る経費を中心に、投資的経費の確保に努めたところです。工事の発注等にありましては、相模原市がらばるる中小企業を応援する条例等に基づき、可能な限り市内事業者の受注機会の増大に努めてまいります。

防災対策について

避難所等の環境整備と民間宿泊施設の活用について

【質問】災害時、避難所等での新型コロナウイルスアウトブレイク感染への感染リスクを懸念し避難を避けるようなことがないよう、感染防止対策や必要な装備品の配備、円滑な運営が期待される。現在の取組状況を伺うとともに、民間の宿泊施設の活用についても協定締結の取組状況について伺う。

【答弁】本市では、マスク、手指消毒液などの物品を避難所等に配備するとともに、運営マニュアルに感染症対策を追加したほか、避難者同士の間仕切りにも利用できるテントを備蓄いたしました。また、民間の宿泊施設の活用につきましては、ホテル1社と協定を締結しており、現在、他のホテル等との調整を進めております。

各区の重要課題について

各区共通の課題について

【質問】各区の渋滞箇所の改善や都市計画道路の早期整備、生活道路の危険箇所への歩道等安全確保が求められている。交通量や危険箇所の分析や道路整備による効果などを把握した上で、計画的に効率的に推進していく必要があると思うが、取組状況について伺う。

【答弁】「第2次相模原市新道路整備計画」においては、「渋滞のない快適な移動を支える道づくり」など6つの施策目標の達成に向け、渋滞・交通安全ネットワークの解消や幹線道路ネットワークの形成を図るため、整備候補箇所の評価を行い、交差点改良や道

路拡幅など、計画的な道路整備を進めているところ。また、市民に身近な生活道路などにつきましても、児童の通学路などを優先に、路面標示等の安全施設を設置することにより、安全確保を図っております。

リニアまちづくり関連推進事業について

オープンハウス型説明会の結果について

【質問】橋本駅周辺のまちづくりについて、「まちづくりガイドライン」に係るオープンハウスの説明会を1月に実施したと承知しているが、どのような結果であったか伺う。

【答弁】本年1月に8回実施した説明会では、532名の方に御参加いただき、アンケートの回答が167通りありました。併せて実施したインターネット等による回答33通と合わせ、合計200通の回答を頂きました。主な内容といたしましては、企業、産業、商業施設の誘致などの土地利用に係る御意見や、渋滞対策、公共交通機関の利便性の向上などの交通に係る御意見がありました。

今後の進め方について

【質問】今回の意見をどのように反映するのか、「まちづくりガイドライン」策定に向けた今後の進め方について伺う。

【答弁】「まちづくりガイドライン」については、アンケートの結果を踏まえ、本年、夏頃を目途に最終案をお示しし、パブリックコメントや、説明会の開催などにより、市民の皆さまの御意見を伺いながら、令和5年中の策定を目指してまいります。

(仮称)新斎場の整備について

【質問】(仮称)新斎場整備事業は、本市の火葬能力が火葬需要に耐えきれなくなることから、令和6年度の供用開始を目指して進められてきたと承知しているが、現状についての見解を伺う。

【答弁】(仮称)新斎場整備事業は、現在、土砂災害対策をはじめとする課題解決に向けた検討を行っております。また、市営斎場の待合室の分割等により、来年度の予約枠を現在より約1,100件多い約8,300件とするこ

本市の火葬能力の向上に努めてまいります。

消火力の強化について

【質問】山林火災、山岳救助、土砂災害、河川・湖における水難救助等への迅速な対応が必要と考えますが、今後、どのように取組を進めていくのか伺う。

【答弁】緑区の津久井地域につきましては、山林火災や山岳救助、土砂災害など、地域特有の災害対応が必要であることから、これらの災害に迅速かつ的確に対応するため、現在、訓練施設や燃料給油施設を備えた津久井消防署の移転整備を行っております。

今後、地域の実情に応じた車両や資機材などを整備するとともに、関係機関と連携した実践的な訓練の充実に努めてまいります。

圏央道へのアクセス道路の整備について

【質問】津久井広域道路の国道412号までの延伸など圏央道インターチェンジへのアクセス道路を早期に整備すること、中山間地域への到達性やリニア中央新幹線との相乗効果による経済波及効果も期待できると考えますが、取組状況について伺う。

【答弁】当該道路につきましては、国道412号までの区間を都市計画決定しており、相模原インターチェンジへのアクセス道路として串川ひがし地域センター前までの区間は既に供用開始しております。現在、その先の県道513号鳥屋川尻までの約1キロメートル区間について、用地の取得を進めており、令和5年度から順次、工事に着手する予定です。

中山間地域対策について

医療提供体制について

【質問】中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針について住民説明会やパブリックコメント等を実施しているが、どのような意見が寄せられているのか。また、寄せられた

意見等を踏まえ、今後、どのように進めていくのか伺う。

【答弁】住民説明会やパブリックコメントでは、廃止となる診療所の存続やオンライン診療に対する懸念のほか、ICT技術の活用、地域と診療所との顔の見える関係づくりなどへのご意見がありました。今後は、周知が不十分のご意見もあつたことから、基本方針策定の背景やオンライン診療を丁寧に説明する機会を設けるなど、引き続き、地域の皆様へのご理解を深める取組を進め、基本方針を策定してまいりたいと考えております。

中山間地域振興について

【質問】今回、案として示された総合計画推進プログラムにおいて、中山間地域の振興策として観光資源への誘導促進事業や中山間地域振興モデル地区推進事業、ワーケーション推進事業などさまざまな新規事業が示されている。今後、どのように中山間地域振興を推進していくのか考えを伺う。

【答弁】将来に渡り、地域の活力を維持・発展させるため、人口減少対策や安心できる生活環境の確保、適切な土地利用の誘導など、中長期的な取組が求められます。このため、道路や防災対策などの基盤整備や、交通、医療、子育て環境等の充実に努めながら、自然豊かな地域の魅力を活用し、観光や農林業の振興、移住・定住の促進、新たなビジネスの創出に向けた取組を行ってまいります。

いざがみはらは津久井産材の利用拡大について

【質問】津久井産材の利用拡大には、民間施設における利用の拡大が不可欠であると思うが、今後の取組の考え方について伺う。

【答弁】現在、「さがみはらは津久井産材の家づくり事業」など、住宅や民間施設の木造化・木質化に対する支援を行い、木材の利用促進を図っております。また、本年度、民間建築物までを対象とした木材利用の基本方針を策定し、引き続き、市民の皆様とともにさがみはらは津久井産材の利用拡大に取り組んでまいります。

その他の質問

予算編成の基本的な考え方と特徴について/市税収入について/歯と口腔の健康に関する施策について/さがみはら休日一時保育事業について/保育所等の保育士確保対策について/感染症法上の5類感染症への変更について/今後のワクチン接種のあり方について/高齢者保健福祉施策について/学力保障について/教員の人材確保策について/不登校児童生徒の現状と対策について/図書館活性化の取組について/博物館について

※その他の質問詳細や市議会に関する情報は、「相模原市議会」のHPをご覧ください。



緑区



佐藤尚史



秋本仁



大八木聡

自由民主党相模原市議団

https://jimin-sagamihara.jp/

〒252-5277 神奈川県相模原市中央区中央2丁目11番15号

TEL: 042-769-8310 FAX: 042-754-9870

メール: info.shic@gmail.com

発行責任者: 須田 毅 編集責任者: 古内 明

南区: 須田 毅/阿部 善博/寺田 弘子/古内 明/大槻 和弘/折笠 正治
中央区: 中村 昌治/小野 弘/渡部 俊明/服部 裕明/布施 初子

